

後援会だより

鈴鹿市日本共産党後援会 鈴鹿市西条4丁目144
電話 382-5709 FAX 382-7689

鈴鹿市日本共産党後援会ホームページ <http://jcp-suzuka.jimdo.com/> パスワード suzuka2020



比例東海で **3** 議席以上

安倍政権倒す チャンス

鈴鹿市日本共産党後援会

会長 谷口 茂

■いよいよ総選挙の投票日が近づいてきました。

今回の選挙、最大の争点は「安倍暴走政治」をそのまま、続けさせていいのかどうか、にあります。

日本共産党は安倍政権を退陣に追い込む歴史的チャンスとの選挙として意気高くなっています。

野党と市民の共闘の勝利、そして日本共産党の躍進を実現して「改憲勢力3分の2体制」を打破するため、ともにがんばりましょう。

比例選挙で850万票以上を獲得し、東海ブロックでは中野たけしさんを含め、3議席以上をめざしてがんばります。ぜひ、みなさんのお力をお貸しください。

■比例代表で3議席以上の実現のため以下の点でご協力を心よりお願いします。

☆東海ブロック（愛知・静岡・岐阜・三重）はもとより全国のお知り合いへ「比例代表は日本共産党へ」と支持の輪を広げてください。

☆小選挙区では野党共闘の統一候補・

中川正春さんへの支援をひろげてください。

新党の登場、民

進党の消滅、そうした激動の情勢のもと、ブレない政党、政党らしい政党として日本共産党へのあらたな期待と注目が広がっています。頑張れば躍進する条件は間違いなく存在します。そのためにも「やるべきことをやる」ことが大事です。みなさんと、ごいっしょに、日本の政治をきりかえるためにがんばりましょう。



鈴鹿市後援会の

みなさんへ

日本共産党三重県委員会

委員長 大嶽 隆司

大変お世話になっております。いよいよ総選挙です。

憲法を破壊し、民意を踏みつけに、国政を私物化する「安倍暴走政治」をこのまま続けさせていいのか、それとも、国民が退場の審判をくだすのか―これが総選挙の最大の争点です。

安倍暴走政治を変える力は、安民法制の廃止と立憲主義の回復を原点到、この2年間、安倍暴走政治と対決してきた市民と野党の共闘にこそ、その力があります。

安民法制容認、改憲を掲げる「希望の党」は、「自民党の補完勢力」であり、安倍暴走政治を止めることも変えることもできません。

日本共産党は、共闘の原点と大義に立ち返って無所属での立候補を決意された、1区・松田直久候補、2区・中川正春候補を、この間の経過や行きがかりをのりこえて、1区と2区で党の候補者を取り下げて、「市民連合みえ」と政策協定を結び、市民と野党が共闘して、1区・松田直久候補、2区・中川正春候補の当選のために全力をあげます。3区は野村まさひろ候補、4区は谷中みよし候補を党公認で擁立し当選をめざします。

比例代表選挙では、東海ブロックの議席増をめざす3人目の候補者・中野たけしの当選、三重県から初の国会議員誕生をめざして全力をあげます。「比例は共産党」の支持を広げに広げてください。よろしくお願います。



「Jアラート」を考える

北朝鮮の核・ミサイルにも困ったものですが、安倍政権はこの問題を最大限活用しているような気がしてなりません。

北朝鮮による弾道ミサイル発射時に早朝から、全国瞬時警報システム「Jアラート」が鳴り響き、新幹線など鉄道も止めました。これまでにない脅威「日本にとって非常に深刻な事態」とテレビもパニックを煽りました。しかしながら、この騒ぎ方や「危機」の煽り方は、安倍政権のパフォーマンス臭い気がします。

それだけの危機というのであれば、今、稼働中の原発5基を危機が収まるまでの間、政府はどうして停止させないのか。原発にミサイルが飛び込ん

できたら「頑丈な建物に避難」とか「地面に伏せろ」とか言っている場合では済みません。

「怖いぞ、こわいぞ」と騒いでいるうちに、軍事費は五兆円をはるかに超え、米軍の艦船に自衛隊が給油に走り回っています。

中日新聞の平和の俳句に「空襲警報へ変わるなJ・アラートよ」（金沢市の82歳の男性）の句がありました。再び空襲警報が鳴り響く時代にしてもらいたくない願いが込められているのでは。

国会を自己の保身のために、疑惑隠しのために一方的に解散し政治空白を作っていることに、多くの国民の批判を浴びるのは当然でしょう。

（白子 向井正美）

総選挙2017 私は言いたい

9割の人が支持を約束

月末が近づく9月25日より赤旗読者訪問を始める。なんとしても安倍政権の退場をめざして、読者のみなさんに集金の時に話をすると、まず第一に早く辞めて欲しいと言われる。年金は減らされる、介護保険料・後期高齢国保は上がると生活は苦しくなると話されます。高校生の孫をもつ家庭で、孫さんも早く安倍に辞めてと批判していると話される。また、希望の党についても小池さんの政治信条をみると改憲をめざす方なので非常にこわい人と言われ、共産党に投票を約束してくれました。

30軒の読者集金をする中で、9割以上のみなさん支持を約束してくれました。その中で、自分で夫さんを介護されている方は、毎日悩んで、介護疲れを話されます。ディサービスや泊まりのショートステイも本人がいやがられるので利用もできず、本当に大変と話していました。

困っている方々を助けるためにも、共産党の議員さんを一人でも多く国会へ送り出すことが必要だと思います。憲法9条を守るためにもみなさんで力を合わせていきましょう。

（中川 一春）

怖い

今回の選挙は安倍さんはもちろんですが、前原さんに小池さん、武力を持った戦える日本をめざす人の話題ばかり。北朝鮮のミサイルもこんなに言わんならん？と思うほどで、学校からも保育園からもJアラートが鳴ったときのお便りをお願い、子どもたちも怖がっています。対話以外の解決なんてあり得ないのに、今でさえこんな現状。極右二大政党になったらどうなるのか、本当に怖いです。でも私のように不安に思う人も多はず。ぜひ同じ主張ができる人たちとの共闘をすすめて欲しいです。

（ヤングママ りかさん）

真実が見えない

ほんと真実が見えにくくなっていますよねー！？というか操作されている感じがします。テレビも操作があるかなと思うと全部信じられません。安倍さんは退陣させたいけど、子育て支援に～！なんてうまいこと言ったらみんな騙されちゃいます。点取りのための餌なのに、じゃあ～！？になりますよね。日本のこのころのおばさんもしっかり希望の党なんてやってるし！これも作戦ならますます悔しいですよ。 （保育士 Mさん）

私にできること

日に日に変わる世の中。もうどうなっているのだ。戦争への道まっしぐら。小さい子どもたちはどんなに困った姿を見せていても心の中はまっすぐ前を向いている。よりよい自分を求めている。どの人も昔はそうだったろうに、なぜこんな大人になってしまったのか。幼児教育は大切。考える人の基本を育てるためにもっとお金をかけて欲しい。口先だけじゃなく。

嘆いてばかりいても何も変わらないから、まわりの人にとんどん語っていこうと思う。あちこちで話題にすることで、あきらめないで投票に行ってもらうため。それが自分にできること。

（保育士 Kさん）



憲法に自衛隊を

書きこむ危うさ

9条1項2項はそのままに3項を加える。そんな矛盾の行為が可能なのか、と思いますよね。つまり、「戦争と武力行使は放棄し、陸海空軍等の戦力は保持しない」と書いたままで、「自衛のための必要最小限度の実力組織を置く」と書くというのです。

このねらいは、一つは公明党の「加憲」ということへの懐柔（だきこみ）策と、二つに、国民の中にある「9条を変えな」の願いを逆手にとった形で、「自衛隊の存在も書いていいのでは」という作戦です。

しかし、それは「軍隊・戦争」にお墨付きを与える腹黒い裏心が見え透っています。この問アベ自公は、立憲主義（憲法が政府をしぼる）という基本をこわし、「海外にまで出て戦争をする国」を進めてきました。秘密保護法を強行し（2013年）、集団的自衛権を行使する国Ⅱ戦争法（2015年）を決め、そして、共謀罪法（2017年）をまたまた強行しました。つまり、自衛隊を確実に海外で武力行使できる仕組みを作り上げ、

アメリカが戦後200回も起こしてきた切れ目ない戦争に自衛隊が参戦できる道をこれまで着々とつくってきたのです。

それでも、9条が頑固に「戦争しない・軍隊をもたない」というのが邪魔で空文化させたいと心の中で強く思っています。（日本会議系 『明日への選択』 2016）そこで、災害救助などに活躍する自衛隊を憲法に明記するのがなぜ悪い、とすこむのです。

矛盾する2項（戦力不保持）と3項（自衛隊という他国が認める軍隊）を併記することがそもそも可能なのでしょうか。そして、もし書き込んだら、他国並みの活動や軍法会議などの規定を決めなければなりません。それは、憲法の他のところも変えさせることに次から次へととなり、「自衛」という名で「憲法と平和の根幹」をはげしくむしばんでいくことは火を見るより明らかです。戦後72年守ってきた平和を、殺し殺される国にして、子どもたちや孫に渡す訳には絶対できない、そう強く思いませんか。

（石葉師 萩森 繁樹）

私のおすすめ 簡単レシピ 一大豆のかき揚げ

今年は栗が豊作とか。「芋、栗、南瓜」と言うくらいですから嬉しいことです。栗拾いはぶどう狩りやりんご狩りほど馴染みがないと思ったら、誰かが「すぐ食べられへんでな」となるほどです。

芋、栗ほどではないかもしれませんが、大豆もほっこりおいしいものです。それに、災害の時など良質のタンパク質が不足しがちで、特に子どもさんには大切な栄養です。そのまま食べられる大豆の缶詰を常備しておくことがおすすめです。ご飯を炊く時に入れてもいいです。

【材料】

- 大豆 戻して茹でたもの、缶詰など
- 生椎茸 大豆に揃えて1センチ角
- 紅生姜 みじん切り

【作り方】

材料をボウルに入れて小麦粉を混ぜ、少しゆるく溶いた天ぷらの衣を、様子を見ながら入れて、スプーンですくって揚げます。



（テキストこそ極意のY）

随想

秋の深まりを感じるころになると、ふっと思いたず風景がある。傍らに矢作川の水音がして、少し先に鉄橋が見え列車が長い尾を引いて走り去るのが見える。夕闇がせまるなか、私たち一家4人、線路わきの空き地に座り込み夕食をとっている。

今朝方、名

両親の思い出

古屋の我が家を2台のリヤカーに詰めただけの家財道具を乗せ、ふた親がそれを引いてここまでたどり着いたのであった。傍らの東海道には車がせわしく行きかっているが、私たちは冷たいご飯をただ黙々と口に

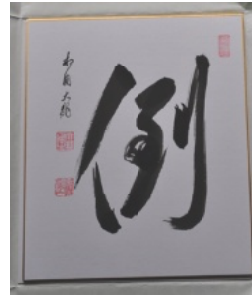
糸柳章二

昭和19年の秋のことである。

が案じられた。

（稻生）

安倍政権「打倒」に 向かって 共に頑張ろう！



有馬頼底師

倒！

衣斐弘行

過日、京都の相国寺派管長有馬頼底師とお会いし話を伺う機会があった。有馬師はかつてベトナム戦争反対や70年安保反対やその後の古都税反対や京都景観に関して高層ビル建設反対などの運動の賛同者または指導者として

昔から京都市民や学生たちから多くの支持があった。こうした運動を表だつて行うことを避ける禅僧が多いなかでは稀有な老師である。

その有馬師は現在84歳で戦争を語る最後の世代になる。それだけに反戦への思いはひと一倍強く常に行動をもって立ち向かってきた禅僧だ。そのときの話も自らの体験から出た反戦観で安倍改憲に対する激しい苦言と強い反感の考えを熱く語られた。

有馬師が「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」の発起人のひとりでもあることやその運動は



既に赤旗紙日曜版（9月24日付）でも周知のとおりである。仏教者の戦争責任を生涯問い続けた有馬師や私の恩師でもあった思想家市川白弦先生は常々、「戦争の罪責はもともと平和の罪責である。戦争の罪責は戦争の勃発と同時に生じたのではない。それは平和のなかでの平和に対する

罪責である。」と訴えた。安倍政権は経済的向上に国民の平和があり軍備拡大にこそ国民の安全が託されている、と声高にいう。そのことが実は平和の罪責だということ私達は忘れていたのではないか。

有馬師から帰りがけに色紙（写真）をいただいた。そこには墨痕鮮やかに一字大きく「倒」と書かれていた。それが安倍政権「打倒」を意味し実現に向かって共に頑張ろう！ということだと私はひそかに思った。

絵手紙 藤本明子さん



比例は日本共産党

中野たけしを国会へ

アベポンきらいや!

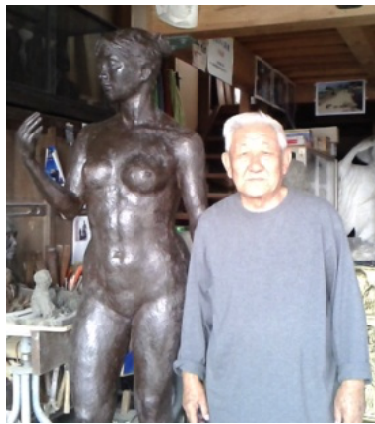
長谷川八壽雄さん、大いに語る

何とも豪放磊落な人です。10月5日、萩森さんとアトリエに訪ねました。

八壽雄さんと聞けば知らない人はいない。みなさんが頼って、やってきます。話している間にも地元の自治会長さんが道路拡張の相談にきたり、歴代市長の運転手だったという人が立ち寄ったり。

「川崎二郎も中川正春もよう知っとるよ。」

先日関係者があいさつに来たわ。萩原量吉県会議員もよう知っとる。津の落合さんは三重大の同期で親しい。真弓さんもな。」



「辻井さんはワシが教育委員長をしていたころ、議会を鋭い質問しとった。辻井さんのええところは相手をとことん追いつめずに逃げ道を残しておくとこころ。たいしたもんや。」

「今度の選挙? 安倍はあかん。安倍が出てきたらテレビすぐ切ることにしとる。安倍はしょっちゅう海外に行っとるけど、肝心ところに行っ

てない。北朝鮮、韓国、中国に行かなあかんやろ。麻生も態度がえらっそうやで大嫌いや。」

「未来の党の小池百合子? はじめはなかなかええのが知事になったと思とったが、最近はおあかん。服装の趣味が悪い。どういう素性か知らんが、ワシは嫌いやな。」

歯に衣着せぬ政治家

談議に花が咲きます。今年88歳になった長谷川八壽雄さん、米寿を記念して津で個展を開きます。10月18日〜22日、三重画廊。

「後援会だよりに原稿? あかんあかん、しゃべるのと飲むのは得意やが、文を書くのは苦手や。何でもええで書いて。」

「じゃ、インタビュート言うことでもちろで書かせて貰います。」
というわけでこの記事になりました。第33回日展(1998年)で「特選」になった彫刻『追想』の前で、写真を撮らせて貰いました。この彫刻も「個展」で披露されます。

最後に、遠慮しがちに「ポスター貼らせて貰えませんか?」とおねがいすると、「はい、どうぞ」と、いとも簡単にOK。アトリエに、初めて政党のポスターが張り出されました。

※豪放磊落(ごうほうらいらく) 度量が大きく快活で、小さなことにこだわらないさま。

大辞林 第三版

(記事 吉田一男)

アトリエに貼られたポスター

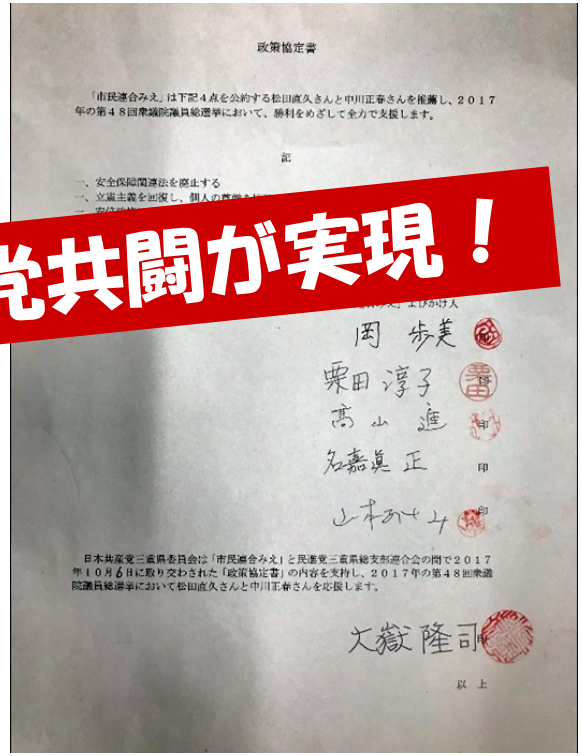




三重1・2区で野党共闘が実現！



野党共闘の成立を喜ぶ市民と野党代表



市民連合と野党3党が交わした協定書

小選挙区は中川正春 (野党統一候補・無所属)



比例区は共産党 (個人名を書くと無効です)



ばりましょう。

野党統一候補・中川正春さんの当選をめざし、
鈴鹿市日本共産党後援会の総力をあげてがんばりましょう。

私たちが草の根からのとりくみを進めれば必ず勝利できます。」と呼びかけています。

比例区では三重県初の共産党国会議員・中野たけしさんの当選を、そして小選挙区では野党統一候補・中川正春さんの当選をめざし、

市民連合みえは声明を発表し、「松田さんと中川さんの選挙区はいずれも激戦・伯仲の状況です。一人でも多くの無党派市民に松田さんと中川さんの政策を広げ、多くの市民の共感を得ることが勝敗の力ぎを握ります。勇氣ある道を踏み出した二人の候補者を励まし、

差を是正し、公正な社会をつくる」という4点が明記されています。

は

① 安全保障関連法を廃止する
② 立憲主義を回復し、個人の尊厳を擁護する政治を実現する
③ 安倍政権による憲法改悪を阻止する
④ アベノミクスによる生活破壊を許さず、格

市民連合と候補者が交わした政策協定書で

後援会の総力を